

平成28年度 維持管理状況(6月1日～30日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O2 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去	
				t	℃	℃	ppm		
目黒	600	1号炉	燃	7,240.38	939～1,068	159～161	5～10	ボイラ設備の除じんはボイラスタートブロー又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。	
		2号炉		729.65	946～1,013	159～160	0～4		
有明	400	1号炉		4,331.20	1,007～1,111	166～176	3～58		
		2号炉		定期点検補修					
千歳	600	1号炉		13,492.28	814～1,108	143～164	4～24		
江戸川	600	1号炉		6,958.36	900～984	170～171	0～9		
		2号炉		定期点検補修					
墨田	600	1号炉		7,348.58	851～1,090	156～162	0～7		
北	600	1号炉		14,120.50	1,003～1,275	163～173	2～40		
新江東	1,800	1号炉		8,883.50	923～1,140	168～173	0～12		
		2号炉		16,769.34	949～1,145	169～174	0～14		
		3号炉		16,882.52	914～1,117	169～175	0～9		
港	900	1号炉		8,796.75	952～1,152	167～169	0～22		
		2号炉		8,849.01	937～1,175	168～170	1～26		
		3号炉		休炉中					
豊島	400	1号炉		3,938.06	869～929	167～169	0～64		
		2号炉		定期点検補修					
渋谷	200	1号炉		5,315.86	974～1,034	144～155	0～32		
中央	600	1号炉		7,920.63	946～1,088	148～153	0～17		
		2号炉		7,926.74	887～1,053	149～152	1～19		
板橋	600	1号炉		7,275.49	907～1,166	161～167	0～9		
		2号炉		7,624.01	897～1,156	158～164	0～5		
多摩川	300	1号炉		定期点検補修					
		2号炉		3,609.36	878～1,003	155	0～3		
足立	700	1号炉		9,249.69	883～1,045	172～174	1～26		
		2号炉		9,317.43	895～1,040	172～173	0～52		
品川	600	1号炉		7,856.84	839 <sup>※①</sup> ～1,020	159～180	0～28		
		2号炉		7,924.47	900～1,038	158～168	0～32		
葛飾	500	1号炉		6,376.63	896～1,071	157～168	1～22		
		2号炉		6,285.62	929～1,054	159～161	3～51		
世田谷	300	1号炉		4,274.04	907～1,004	168～196	0～85		
		2号炉	3,250.09	907～1,062	167～201 <sup>※②</sup>	0～29			
大田	600	1号炉	8,017.24	859～985	150～167	5～44			
		2号炉	8,069.29	879～987	149～165	7～27			
練馬	500	1号炉	5,608.56	859～1,015	154～164	1～86			
		2号炉	6,340.33	850～1,012	155～169	2～180 <sup>※③</sup>			

注:光が丘清掃工場、大田清掃工場 第一工場、中防灰溶融施設、破碎ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(\*)

平成28年度 維持管理状況(6月1日～30日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 品川清掃工場 1号炉 6月16日(木) 11:00  
燃焼室ガス温度が、839℃を記録した。  
原因はごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。  
直ちに、助燃バーナの運転、燃焼空気量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以上の正常な状態に回復した。
  
- ② 世田谷清掃工場 2号炉 6月15日(水) 14:00  
集じん器入口ガス温度が、201℃を記録した。  
原因は、スラグバーナを起動した際の温度上昇によるもので、直ちにスラグバーナを停止させ、  
集じん機入口ガス温度は維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。
  
- ③ 練馬清掃工場 2号炉 6月20日(月) 10:00  
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で180ppmを記録した。  
原因は、ごみの供給過多により一時的に燃焼が過剰となり、炉内の酸素が不足したことによる。  
直ちに、燃焼用空気流量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。